

I. 2020年度事業報告（2020年3月1日から2021年2月28日まで）

【公益目的事業】

(1) 会誌「化学と生物」、論文誌等の刊行を通じて農芸化学の普及啓発を行う事業

1) 学会誌「化学と生物」の発行状況

会誌送付の状況（括弧内は紙媒体による送付数）

（2021年2月末現在）

	化学と生物 (第59巻, 第2号)		Biosci.Biotechnol.Biochem (第85巻, 第2号)	
	国内	国外	国内	国外
名誉会員	15 (6)	1 (1)	15 (9)	1 (1)
有功会員	214 (66)	0 (0)	214 (7)	0 (0)
シニア会員	234 (31)	0 (0)	234 (6)	0 (0)
一般会員	5,162 (101)	9 (0)	5,162 (133)	9 (0)
教育会員	70 (70)	0 (0)	70 (2)	0 (0)
学生会員	1,907 (8)	1 (0)	1,907 (5)	1 (0)
ジュニア会員	8 (0)	0 (0)	8 (0)	0 (0)
国外会員	0 (0)	10 (1)	0 (0)	10 (2)
賛助会員	97 (97)	0 (0)	97 (95)	0 (0)
団体会員	247 (246)	0 (0)	247 (244)	0 (0)
寄贈・交換	0 (17)	0 (8)	0 (4)	0 (10)
追加送本 ^{※1}	0 (7)	0 (0)	0 (4)	0 (0)
販売 ^{※2}	0 (480)	0 (0)	71 (0)	1,161 (0)
広告用	0 (20)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
事務局保存用	0 (15)	0 (0)	0 (10)	0 (0)
計	7,954 (1,164)	21 (10)	8,025 (519)	1,182 (13)
総計	7,975 (1,174)		9,207 (532)	
紙媒体印刷部数	(1,350)		(550)	
紙媒体残部	(176)		(18)	

※ オンライン版会誌送付数は2020年度会費納入済の会員数

※1 賛助会員に追加で送本しているもの（有料）

※2 和文誌を刊行している国際文献社、英文誌を刊行している Oxford University Press が販売しているもの

「化学と生物」掲載頁数（下段は編数）

	第54巻 (2016年)	第55巻 (2017年)	第56巻 (2018年)	第57巻 (2019年)	第58巻 (2020年)
解説	358 48	412 57	392 53	359 49	353 47
講座・セミナー室	197 30	103 15	116 16	217 26	138 19
今日の話題	162 60	186 69	103 39	90 35	94 34
バイオサイエンススコープ	44 9	47 9	20 4	0 0	12 2
生物コーナー・化学の窓	10 2	0 0	11 2	6 1	0 0
トップランナーに聞く	6 1	5 1	4 1	9 1	0 0
海外だより・学界の動き	11 2	0 0	9 2	22 4	21 4
プロダクトイノベーション・ テクノロジーイノベーション	33 7	38 6	32 6	28 5	40 7
農芸化学 @High School	9 3	24 8	23 7	17 5	21 5
特集号	67 17		97 20		
その他	35	26	29	28	25
印刷頁数（冊子体）	932	844	836	776	704

「化学と生物」執筆者へ「化学と生物・クリアファイル」を配布している。

2) 学会誌「Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry」の発行状況

英文誌投稿状況・掲載状況

月	2020年														2021年		
	前年末	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	1	2	計
手持数	171	174	167	168	181	170	172	184	201	206	201	183	180		150	134	
受理数		93	71	89	94	75	88	119	120	95	99	73	103	1119	74	63	137
掲載数		24	24	25	26	28	26	25	22	25	24	22	26	297	33	34	67
返却数		66	54	63	55	58	60	82	81	65	80	69	80	813	71	45	116
issue		84-02	84-03	84-04	84-05	84-06	84-07	84-08	84-09	84-10	84-11	84-12	85-01		85-02	85-03	

英文誌掲載の状況

	受理報文数		掲載報文数		返却報文数		年末手持 報文数	印刷頁数 (投稿論文)	印刷部数	IF
		うち 海外		うち 海外		うち 海外				
2016年	734	392	336	80	447	332	178	2496 (Vol. 80)	895 (Vol. 80, No. 12)	1.295
2017年	694	360	299	58	412	309	162	2410 (Vol. 81)	810 (Vol. 81, No. 12)	1.255
2018年	742	422	291	53	439	334	174	2224 (Vol. 82)	735 (Vol. 82, No. 12)	1.297
2019年	947	669	289	95	661	563	171	2393 (Vol. 83)	700 (Vol. 83, No. 12)	1.516
2020年	1119	835	297	101	813	731	180	2608 (Vol. 84)	650 (Vol. 84, No. 12)	
増減	172	166	8	6	152	168	9	215	-50	

* 増減は2019年と2020年の比較

85巻1号に「Natural Product Chemistry」の特集号を掲載し、Free Accessとして無料公開した。

3) 2020年度大会プログラム集は2020年2月25日にPDF版を発行した。

4) 2020年度大会講演要旨集は2020年3月5日にPDF版を発行した。

(2) 学術大会, 講演会等の開催を通じて農芸化学の普及啓発を行う事業

1) 2020年度学会賞等受賞者講演の開催

2020年度日本農芸化学会賞・日本農芸化学会功績賞・農芸化学技術賞・農芸化学奨励賞・農芸化学女性研究者賞・農芸化学若手女性研究者賞・農芸化学女性企業研究者賞の受賞者講演は2020年3月25日に福岡国際会議場(福岡市博多区石城町 2-1)において開催を予定していたが新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大の防止という観点から2021年度大会の期間中に開催することとして延期となった。

2) 2020年度大会の開催

2020年度大会は2020年3月25日から28日までの4日間、福岡国際会議場(福岡市博多区石城町2-1)および九州大学伊都キャンパス(福岡市西区元岡744)において開催を予定していたが新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大の防止という観点から各種イベントは中止となった。2020年3月5日付けで大会講演要旨集(PDF)を発行し、大会ホームページ上への掲載をもって発表の成立とした。また、ポスター発表(優秀発表)者にはポスター発表選出証明書を発行した。

大会講演要旨集・プログラム集には以下の内容を記載した。

- ・一般講演(1,598題)
- ・ポスター発表(優秀発表)(200題)
- ・シンポジウム(137題)
- ・ランチョンシンポジウム(13題)
- ・ランチョンセミナー(10題)
- ・ジュニア農芸化学会(65題)
- ・産学官学術交流フォーラム(10題)
- ・分野融合連携(他学会連携)シンポジウム(9題)
- ・農芸化学「化学と生物」シンポジウム(3題)

2020年3月18日に東京大学中島董一郎記念ホール(東京都文京区弥生1-1-1)において報道各社を招き記者会見を予定していたが、大会中止のため開催しなかった。大会での演題の紹介、解説が記載されたトピックス集を発行し、希望のあった報道機関に配布した。

2020年度大会におけるトピックス演題として下記31題を選出した。

- 3C01p08 若井 暁 海洋研究開発機構
「金属腐食と微生物群集構造の相関解析」
- 4C02a06 井出曜子 株式会社デンソー
「緑藻 *Coccomyxa* のゲノム編集技術を用いた油脂生産性増加と細胞壁脆弱化」
- 3B01p15 大橋輝久 長谷川香料株式会社
「スズランの花より見出だしたスズラン様香気成分の同定」
- 4B05a02 佐藤 努 新潟大学大学院自然科学研究科・農学部

- 「龍涎香人工合成経路の構築：アンブレインと香気成分の効率的合成と破骨細胞分化誘導活性」
- 3B03p07 片浦哲志 慶應義塾大学理工学部
「細胞内ビリルビン代謝を標的とする新規パーキンソン病治療薬シードBRUP-1の同定と作用機序解析」
- 4B01a07 義本裕介 京都大学大学院農学研究科
「ヤエヤマサソリの脱皮殻に含まれる新奇蛍光物質」
- 3C03a10 齋藤悠香 東レ株式会社先端融合研究所
「シロアリ共生原生動物由来新規BGLの生産と機能解析」
- 4C03a02 荒井 萌 京都大学大学院生命科学研究科
「*Bifidobacterium bifidum*由来スルフォグリコシダーゼBbhIIの糖鎖結合ドメインの機能解析」
- 3C04p09 中村彰宏 長岡技術科学大学大学院工学研究科
「抗菌薬開発に資する *Porphyromonas gingivalis*由来Dipeptidyl peptidase 11の構造解析と阻害化合物探索」
- 2A01a02 矢島由莉佳 キリンホールディングス株式会社
「中赤外分光法を用いた酵素処理オレンジ果汁中に含まれる成分糖の定量」
- 3A01a07 山本深月 静岡大学大学院薬食生命科学総合学府
「甘味タンパク質の全網羅ペプチドライブラリーを用いた“コク味”受容体相互作用領域の解析と高活性ペプチドの創製」
- 3A01p01 成瀬史子 サッポロビール株式会社
「醸造工程中に失われる香りから見出されたビールらしさに寄与する香気成分」
- 3A02a11 武政 誠 東京電機大学大学院理工学研究科
「フード3Dプリンタにより食感を作り出す」
- 2A03a10 野口 惇 東京大学大学院農学生命科学研究科
「腸内細菌が産生する脂肪酸代謝産物のヒトiPS小腸モデルを用いた生理機能解明」
- 3A03a11 米島靖記 日東薬品工業株式会社
「HYA (10-hydroxy-*cis*-12-octadecenoic acid)の食品向け実用化開発」
- 2A05a02 戸田安香 明治大学農学部
「霊長類旨味受容体における高いグルタミン酸感受性獲得の分子機構」
- 2A18a02 河野 響 東京大学生物生産工学研究センター
「細菌にプラスミドへの非感受性を与える転写制御ネットワークの解明」
- 4A18a13 福田紗弓 筑波大学生命環境系
「マイクロ流体デバイスを用いた糸状菌の菌糸における可塑性の解析」
- 3A08p06 平野里佳 近畿大学生物理工学部
「次世代型プレバイオティクス・ガラクトシル- β -1,4-ラムノースのビフィズス菌特異的な増殖促進機構の解析」
- 3A08p16 三浦隆匡 独立行政法人 製品評価技術基盤機構

「ヒトマイクロバイオーーム解析のための Mock Community の開発」

- 2A12a04 風間春香 新潟薬科大学応用生命科学部
「比較ゲノム解析による油脂酵母 *Lipomyces starkeyi* の新規油脂蓄積制御因子の同定とその機能解析」
- 2A11a08 村上直之 月桂冠株式会社総合研究所
「バリン代謝が変化した新規 *ILV6* 変異酵母のアミノ酸生成能と清酒醸造特性」
- 3A07a08 齋藤直也 東京大学大学院農学生命科学研究科
「麹菌におけるゲノム編集を利用した多重代謝改変による異種天然物生産性の向上」
- 3A15a11 中田翔太 京都大学大学院農学研究科
「海洋由来酵母による褐藻類主要成分マンニトールからの油脂生産」
- 3A17p12 安田まり奈 筑波大学大学院生命環境科学
「プロファージ遺伝子による微生物間コミュニケーションの活性化」
- 2A12p02 宮崎つぐみ 筑波大学生命環境系
「フミン酸添加培養モデルが解明する土壌環境中での糸状菌の代謝制御」
- 3A11p15 北村嘉子 信州大学農学部
「コリネ型細菌によるパルミトレイン酸の生産（第一報）」
- 3B06p13 小林優理 東京大学大学院農学生命科学研究科
「カイコのクワ認識に関与する成分と味覚受容体の探索」
- 3B09p07 國久葉月 秋田県立大学生物資源科学部
「原種コーヒーから単離したカフェイン生合成系酵素遺伝子の機能解析と基質特異性決定部位の探索」
- 3B08a08 黒岩 風 埼玉大学大学院理工学研究科
「インビトロ再構成系した天然ゴム生合成酵素の活性解析」
- 2B09a01 上田賢志 日本大学生物資源科学部
「GABA測定キットの開発」

2020年企業研究者活動表彰受賞者を下記のとおり表彰した（10名）。

- 阿野泰久（キリンホールディングス株式会社）
谷口慈将（キリンホールディングス株式会社）
森田悠治（キリンホールディングス株式会社）
栗野亮二（Global Marketing Association株式会社）
小高敦史（月桂冠株式会社）
櫻井和俊（高砂香料工業株式会社）
染井 秀（ソメイヤッコ（薬壺）研究所）
東田英毅（株式会社ちとせ研究所）
清水崇光（ホクト株式会社）
中島綾香（株式会社ユーグレナ）

- 3) ジュニア農芸化学会（高校生による研究発表会）の開催
ジュニア農芸化学会（高校生による研究発表会）は

2020年度大会期間中の2020年3月26日に九州大学伊都キャンパスにおいて開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大の防止という観点から発表会は中止となった。要旨集の発行をもって発表成立とした（65題・65校）。

- 4) 第27回農芸化学Frontiersシンポジウムの開催

第27回農芸化学Frontiersシンポジウムは2020年3月28日～29日にHotel & Resorts SAGA-KARATSU（佐賀県唐津市東唐津4丁目9-20）において開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大の防止という観点から開催中止となった。

- 5) 第46回農芸化学「化学と生物」シンポジウムの開催

第46回農芸化学「化学と生物」シンポジウムは「「染色体遺伝子の新たな姿とゲノム編集」—生命のさらなる理解と医療・育種への展開—」というタイトルで、2020年3月26日に九州大学伊都キャンパス（福岡市西区元岡744）において開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大の防止という観点から開催延期となった。

- 6) 分野融合連携シンポジウムの開催

分野融合連携シンポジウムは2020年3月27日と3月28日に九州大学伊都キャンパス（福岡市西区元岡744）において、日本農薬学会との合同企画を「SDGs時代における農薬研究」というタイトルで、日本抗加齢医学会との合同企画を「見た目のアンチエイジング」というタイトルで、開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大の防止という観点から中止した。2020年3月5日付けで大会講演要旨集（PDF）を発行し、大会ホームページ上への掲載をもって発表の成立とした。

- 7) サイエンスカフェの開催

*¹日本学術会議農芸化学分科会と共催、*²京都カラスマ大学と共催

- 1 [第132回]（鳥取）2020年6月27日「鳥取のおいしい地域資源～ローカル酵母と梨ポリフェノール～」（鳥取大学広報センター内 Community Design Lab）（開催延期）

- 2 [第133回]*¹（仙台）2020年12月5日「薬に頼る前にできる疾病予防—ビタミン・ミネラル・ポリフェノールの有効利用—」（Zoomによるオンライン開催）
講師：駒井 三千夫 氏 コーディネータ：藤井 智幸 氏
参加者：35名

- 3 [第134回]*²（京都）2020年12月5日「食べることは生きること—大人が知っておきたい微量ミネラル「鉄・亜鉛・銅」—」（清課堂西ノ京工房）講師：神戸 大朋 氏
コーディネータ：京都カラスマ大学、由里本 博也 氏
参加者：17名

- 8) 産学官学術交流フォーラムの開催

産学官学術交流フォーラムは、2020年3月27日に九州大学伊都キャンパス（福岡市西区元岡744）において開催

予定であったが、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大の防止という観点から開催延期となった。

9) 産学官若手交流会（さんわか）セミナーの開催

産学官若手交流会（さんわか）セミナーは以下の通り2回開催した。

1 [第35回] ベンチャー立ち上げのリアル（2020年8月31日、Zoom ウェビナー配信、参加者約100名）

2 [第36回] ストレス研究の最前線～コロナ時代のストレスと向き合うために～（2021年1月18日、Zoom ウェビナー配信、参加者約180名）

10) 創立100周年記念事業シリーズシンポジウムの開催

創立100周年記念事業シリーズシンポジウムとして、Visionary 農芸化学100 シンポジウムを下記のとおり1回開催した。

1 [Group C：天然物化学研究領域 第2回シンポジウム] 「これからの天然物化学～生命現象の化学をモノづくりに結ぶまで～」(2021年1月9日、Web開催、参加者約330名)

11) 各支部の講演会等の開催

2020年度の各支部の講演会等は下記のとおり開催された。

北海道支部（1件）

・2020年度 日本農芸化学会北海道支部／第50回 日本栄養・食糧学会北海道支部 合同学術講演会（Web開催、2020年12月12日～13日）

東北支部（3件）

・2020年度 支部シンポジウム「いまホットな脂質研究」（福島大学（Web開催）、11月7日）

・2020年度 第155回支部大会（岩手大学（Web開催）、11月7日～8日）

・2020年度 受賞講演・ミニシンポジウム・特別講演（岩手大学（Web開催）、3月17日）

関東支部（2件）

・2020年度支部大会（Web開催、11月28日）

・2020年度企業イベント～企業研究員&技術者からのメッセージ～（Web開催、11月14日）

中部支部（2件）

・第187回例会 一般講演

（Web開催、名古屋大学、9月26日）

・第188回例会 受賞講演および若手シンポジウム「酵素分子機構研究の最前線」

（Web開催、三重大学、11月14日）

関西支部（6件）

・日本農芸化学会関西支部オンライン講演会（Web開催、9月26日）

・第6回日本農芸化学会関西支部 産学官連携シンポジウム（Web開催、11月7日）

・支部例会（第513回講演会）（Web開催、11月28日）

・JSBBA KANSAI 7th Student Forum（Web開催、12月5日）

・賛助企業・学生交流企画「第6回もっと知ろう賛助企業」（Web開催、2月6日）

・支部例会（第514回講演会）（Web開催、2月6日）

中四国支部（2件）

・2020年度中四国支部大会（第57回講演会）（Web開催、9月17日～18日）

・第58回講演会（例会）（Web開催、1月23日）

西日本支部（3件）

・2020年度日本フードファクター学会・日本農芸化学会西日本支部合同大会（第332回講演会）（宮崎大学・Webによるハイブリッド開催、11月28日～29日）

・第3回学生フォーラム（第333回講演会）（Web開催、12月19日）

・令和2年度日本農芸化学会西日本支部例会（第334回講演会）（Web開催、2月6日）

(3) 表彰を通じて農芸化学の普及啓発・発展を目的とする事業

1) 2020年度日本農芸化学会賞、日本農芸化学会功績賞、農芸化学技術賞、農芸化学奨励賞、農芸化学女性研究者賞、農芸化学若手女性研究者賞、農芸化学女性企業研究者賞を下記のとおり表彰した。

【日本農芸化学会賞】(2件、50音順)

河岸洋和（静岡大学グリーン科学技術研究所）

「高等菌類由来の生物活性物質に関する化学的研究」

高木博史（奈良先端科学技術大学院大学）

「酵母のストレス耐性に関する新規な分子機構と高機能開発」

【日本農芸化学会功績賞】(2件、50音順)

板谷光泰（高機能遺伝子デザイン技術研究組合）

「ゲノム合成からゲノム移動までの一貫システム開発」

鈴木秀之（京都工芸繊維大学大学院）

「バクテリアによる γ -グルタミン化合物代謝の遺伝生化学的・構造生物学的研究とその応用展開」

【農芸化学技術賞】(3件、50音順)

日下部均・野口利忠・稲垣賢二（株式会社エンザイム・センサ・ヤマサ醤油株式会社・岡山大学大学院環境生命科学研究所）

「L-グルタミン酸オキシダーゼの発見と応用開発」

松本光晴（協同乳業株式会社）

「腸内細菌叢の代謝制御によるポリアミン産生技術を用いた機能性食品の開発」

植田文教・小田由里子（富士フィルム株式会社）

「サラシア属植物のヒト消化管調節因子の解明と新規機能性食品の開発」

【農芸化学奨励賞】(10件、50音順)

- 赤沼元気 (学習院大学理学部)
「枯草菌リボソームの新たな機能に関する研究」
- 池田 丈 (広島大学大学院統合生命科学研究科)
「固体材料表面と生体分子の相互作用の解析とバイオ融合マテリアル開発への応用」
- 榎本 賢 (東北大学大学院農学研究科)
「特異な複素環構造と有用な生物活性を示す天然有機化合物の合成研究」
- 尾形 慎 (福島大学農学群食農学類)
「酵素法を基盤とした糖質複合分子の機能設計に関する研究」
- 落合秋人 (新潟大学工学部)
「食品タンパク質の新機能の発見とその多面的利用への構造論的展開」
- 杉山暁史 (京都大学生存圏研究所)
「植物根圏での代謝物の動態及び機能に関する研究」
- 鈴木智大 (宇都宮大学バイオサイエンス教育研究センター)
「きのこ類が産生する生物活性物質に関する天然物化学的・遺伝情報学的研究」
- 中島健一郎 (自然科学研究機構 生理学研究所)
「味覚の脳内伝達とその調節を担う神経機構の解析」
- 樋口裕次郎 (九州大学大学院農学研究院)
「真菌における膜交通に関する分子細胞生理学研究」
- 増田裕一 (三重大学大学院生物資源学研究科)
「天然由来ペプチドの活性発現に係わる三次元構造の解明と応用」
- 【農芸化学女性研究者賞】(3件, 50音順)
- 市 育代 (お茶の水女子大学基幹研究院)
「脂肪酸の栄養状態で変化する生体応答の制御機構に関する研究」
- 稲葉靖子 (宮崎大学農学部)
「種子植物の生殖器官における発熱分子機構とミトコンドリア特性に関する研究」
- 西村麻里江 (農業・食品産業技術総合研究機構)
「植物病原性糸状菌をモデルに用いた糸状菌における環境認識と応答に関する研究」
- 【農芸化学若手女性研究者賞】(3件, 50音順)
- 國武絵美 (三重大学大学院生物資源学研究科)
「糸状菌におけるリグノセルロース分解酵素遺伝子の発現制御機構に関する分子生物学的研究」
- 河村奈緒子 (岐阜大学研究推進・社会連携機構)
「シアル酸含有糖鎖の合成研究および細胞膜ドメイン解析のための糖脂質プローブの開発」
- 千葉洋子 (理化学研究所・環境資源科学研究センター)
「未知の中心的代謝酵素の探索と性状解析—生命の多様性および進化の理解を目指して」
- 【農芸化学女性企業研究者賞】(2件, 50音順)
- 久保田浩美 (花王株式会社スキンケア研究所)
「日用品・食品の開発につながる微生物制御の基礎研究」
- 土屋友理 (キリンホールディングス株式会社)
「発酵中にホップを添加する製法による発酵促進とその応用」
- 2) 第17回農芸化学研究企画賞は下記のとおり表彰した.
研究領域① 先導的生物活性物質研究と新技術開発 (1件)
(1) 革新的医薬医療を志向した生物活性物質の探索・合成・生産等の研究と新技術開発
(2) 革新的農林水産物生産を志向した生物活性物質研究と新技術開発
- 赤澤真一 (長岡工業高等専門学校 物質工学科)
「ミミズ細胞を用いた全く新しいバイオ医薬品生産宿主の開発」
- 研究領域③ グリーンバイオテクノロジー (1件)
(1) 有用物質生産ならびにバイオマス資源の生産・供給・利用に関わるテクノロジー
(2) 省資源・省エネルギープロセスに関わるバイオテクノロジー
(3) 環境浄化・資源循環に関わるバイオテクノロジー
- 織田昌幸 (京都府立大学大学院生命環境科学研究科)
「クチナーゼ Cut190 の PET 分解能向上による実用化のための基盤及び実証研究」
- 3) 2019年B.B.B.論文賞 (10件) を下記のとおり表彰した.
- | | |
|-------------|--|
| pp. 192~201 | Tetsuya Shiina, Kazuya Nakagawa, Yukiko Fujisaki, Taro Ozaki, Chengwei Liu, Tomonobu Toyomasu, Masaru Hashimoto, Hiroyuki Koshino, Atsushi Minami, Hiroshi Kawaide & Hideaki Oikawa
Biosynthetic study of conidiation-inducing factor conidiogenone: heterologous production and cyclization mechanism of a key bifunctional diterpene synthase |
| pp. 281~290 | Koji Yamaguchi, Yuya Yoshimura, Shinya Nakagawa, Hirokazu Mezaki, Satomi Yoshimura & Tsutomu Kawasaki
OsDRE2 contributes to chitin-triggered response through its interaction with OsRLCK185 |
| pp. 463~471 | Shiho Ito, Noriyuki Kioka & Kazumitsu Ueda
Cell migration is negatively modulated by ABCA1 |
| pp. 569~577 | Yusuke Yoshida, Hiroyuki Iguchi, Yasuyoshi Sakai & Hiroya Yurimoto
Pantothenate auxotrophy of <i>Methylobacterium</i> spp. isolated from living plants |

- pp. 876~881 Koji Miyamoto, Tomoharu Matsumoto, Emi Yumoto, Tomoko Sakazawa, Takao Yokota, Hisakazu Yamane & Kenichi Uchida
Facile preparation of optically active jasmonates and their biological activities in rice
- pp. 1372~1381 Eiichiro Kan, Yohei Katsuyama, Jun-ichi Maruyama, Koichi Tamano, Yasuji Koyama & Yasuo Ohnishi
Production of the plant polyketide curcumin in *Aspergillus oryzae*: strengthening malonyl-CoA supply for yield improvement
- pp. 1498~1505 Kazuya Tomimoto, Takeshi Akao & Hisashi Fukuda
Histone deacetylases in sake yeast affect fermentation characteristics
- pp. 1740~1746 Masamori Iwase, Kyoko Watanabe, Makoto Shimizu, Tsukasa Suzuki, Yuji Yamamoto, Jun Inoue & Ryuichiro Sato
Chrysin reduces the activity and protein level of mature forms of sterol regulatory element-binding proteins
- pp. 2144~2152 Yusuke Fujii, Thuy Tien Thi Nguyen, Yuta Fujimura, Naotaka Kameya, Shoji Nakamura, Kensuke Arakawa & Hidetoshi Morita
Fecal metabolite of a gnotobiotic mouse transplanted with gut microbiota from a patient with Alzheimer's disease
- pp. 2163~2171 Yosef Hamba Tola, Yoshiko Fujitani & Akio Tani
Bacteria with natural chemotaxis towards methanol revealed by chemotaxis fishing technique
- 4) Most-Cited Paper Award を下記のとおり表彰した (1件, 被引用回数22回).
Vol. 82 No. 3, pp. 456~465
Weiran Xu, Liang He, Ying Li, Yan Tan, Fan Zhang & Hong Xu
Silencing of lncRNA ZFAS1 inhibits malignancies by blocking Wnt/-catenin signaling in gastric cancer cells
- 5) Most-Cited Review Award を下記のとおり表彰した (1件, 被引用回数30回).
Vol. 82, No. 4, pp. 600~610
Kaeko Murota, Yoshimasa Nakamura & Mariko Uehara
Flavonoid metabolism: the interaction of metabolites and gut microbiota
- 6) 2020年度, 支部における各賞を下記のとおり表彰した.
【日本農芸化学会北海道支部 奨励賞】1件
遠藤明仁 (東京農業大学生物産業学部食香粧化学科)
「フルクトフィリック乳酸菌の発見と特異な進化の様式の解明」
【日本農芸化学会北海道支部 学生会員奨励賞】2件
田口陽大 (北海道大学大学院農学院)
「トレハロース代謝酵素の生化学的性質と物質合成への応用に関する研究」
Masimbula Vidanalage Rishni Samindika Masimbula (北海道大学大学院農学院)
「Bioorganic studies on the bioactivity of airborne MeJA and MeSA and their application to agriculture」
【2020年度 日本農芸化学会北海道支部/第50回 日本栄養・食糧学会北海道支部 合同学術講演会 日本農芸化学会北海道支部 学生優秀発表賞】5件
唐津勇吾 (北大院農)
「1-ケストース投与により変化する循環血中エクソソーム内microRNA と標的予測」
澤田 桃 (北大院農)
「Tepidibacillus decaturensis 由来マルトオリゴ糖4(6)グルコシルトランスフェラーゼ TdM4(6)GT の基質結合部位周辺アミノ酸残基への変異による基質特異性と糖転移活性の改変」
正田雄紀 (北大院農)
「完全無施肥水田内におけるイネ共生性窒素固定細菌 Parabrachyella kururiensis の垂直伝播経路の解明」
山本真太郎 (北大院理)
「コレステロール生合成阻害剤 phomoidride B の生合成研究」
Zhi Feng (Grad. Sch. Chem. Sci. Eng. Hokkaido Univ.)
「Identification and Characterization of the Peptide Epimerase Catalyzing Isomerization of the C-terminal L-Tryptophan Residue in the Biosynthesis of Lasso Peptide, MS-271」
【日本農芸化学会 東北支部 奨励賞】1件
山田美和 (岩手大学農学部)
「産業廃棄物の利活用を目指した有用物質の微生物合成に関する研究」
【日本農芸化学会 東北支部 若手奨励賞】1件
高須蒼生 (東北大学大学院農学研究科)
「アザ糖の体内動態の評価・解明」
【日本農芸化学会東北支部 第155回大会 学生優秀発表賞】6件
木村光来 (東北大院・農)
「(-)-Sporothriolide の全合成」

- 齋藤克哉 (東北大院・農)
「南極産ホヤ由来メロテルペン Rossinone 類の合成研究」
宇野海地 (東北大院・工)
「カルコン異性化酵素類似タンパク質 (CHIL) によるカルコン合成酵素 (CHS) の活性制御メカニズムの解析」
古川 楓 (東北大院・工)
「キンギョソウ由来アントシアニン生合成酵素群の機能解析」
渡辺ひかり (東北大院・農)
「 γ セクレターゼ複合体構成因子 Aph1 による活性調節機構の解析」
上野山怜子 (岩手大院・総合科学)
「ネコのマタタビ反応は蚊の忌避を可能にする」
【日本農芸化学会関東支部 優秀発表賞】 8件
宇田川裕多郎, 細川誠二郎 (早大院・理工)
「新奇UV吸収剤の開発を指向した藍藻由来色素スキトネミンの合成研究」
横山友香¹, 八代拓也¹, 坂田文弥¹, 平野弘之², 長田裕之², 西山千春¹ (¹理科大・院基・生工, ²理化学研究所環境資源科学研究センター)
「新規免疫抑制化合物の探索とその作用機序の解析」
坂巻 裕¹, 高市真一², 木村友紀³, 梅野大輔³, 伊藤晋作¹, 渡辺 智¹ (¹東農大院・バイオ, ²東農大・分子微生物, ³千葉大院・工)
「シアノバクテリア高発現ベクターの開発とそれを利用したストリゴラクトン生産系の構築」
川合誠司¹, 勝山陽平^{1,2}, 菅谷優子¹, 富田宏矢¹, 大西康夫^{1,2} (¹東大院・農生科・応生工, ²東大・微生物イノベ連携機構)
「放線菌が生産するジアゾ基含有トリペプチド alazopeptin の全合成経路の解明」
谷内田優史¹, 中村 顕^{1,2} (¹筑波大院・生命環境, ²筑波大・MiCS)
「新規L-glucose資化細菌 *Luteolibacter* sp. LG18株のL-glucose代謝機構の解析」
辻 晴佳¹, 二宮章洋², 甲斐建次³, 浦山俊一^{2,4}, 萩原大祐^{2,4} (¹筑波大院・生命環境, ²筑波大・生命環境系, ³阪府大・生命環境, ⁴筑波大・MiCS)
「共培養により誘導される *Aspergillus niger* の色素生産と生合成遺伝子の解析」
東海美美子¹, 磯田博子^{2,3}, 宮前友策³, 繁森英幸^{3,4} (¹筑波大院・生命環境, ²筑波大・ARENA, ³筑波大・生命環境, ⁴筑波大・MiCS)
「オートファジーを制御する天然由来化合物の探索」
藤井靖之¹, 坂田 純¹, 伏見大希¹, 平 修², 越阪部奈緒美¹ (¹芝工大院・シス理, ²福島大・食農)
「カテキンオリゴマーは青斑核-ノルアドレナリン作動性神経網を介して脳を活性化する」
【日本農芸化学会中部支部 第187回例会 企業奨励賞 (優秀発表賞)】 4件
岡 大椰 (名古屋大学大学院生命農学研究科応用生命科学専攻)
「機械学習を用いた配列環境情報に基づく転写因子制御遺伝子予測モデルの構築」
黒川香緒里 (静岡県立大学大学院薬食生命科学総合学府食品栄養科学専攻)
「微生物によるメイラード反応抑制効果とその最適条件の検討」
谷口瑞季 (三重大学大学院生物資源学研究科生物圏生命科学専攻)
「好冷性海洋細菌が生産する β -1,3-キシラナーゼの機能解析」
二橋佑磨 (信州大学大学院総合医理工学研究科総合理工学専攻)
「骨芽細胞の分化・石灰化を促進する乳酸菌由来オリゴDNAの同定」
【日本農芸化学会中部支部 第187回例会 学術奨励賞 (優秀発表賞)】 4件
八田佳子 (名古屋大学大学院創薬科学研究科基盤創薬学専攻)
「分裂酵母における硫黄枯渇制限下での細胞小型化の解析」
川合計太郎 (名古屋大学大学院生命農学研究科応用生命科学専攻)
「3,4-Dihydroquinolizinium 化合物の合成とチオールに対する反応性評価」
Adinegoro Daffa Sean (名古屋大学大学院生命農学研究科応用生命科学専攻)
「Rabbit monoclonal antibodies screening targeting membrane protein using ecobody technology」
高原翠夏人 (静岡大学大学院総合科学技術研究科工学専攻)
「バイオフィーム由来膜小胞による免疫応答促進」
【日本農芸化学会関西支部 第513回講演会 優秀発表賞 (支部長推薦)】 1件
宮崎敬太 (神戸大院・科学技術イノベーション研)
「酵母におけるスクアレン生合成経路の改変および下流モノオキシゲナーゼの発現調節」
【日本農芸化学会関西支部 第513回講演会 優秀発表賞 (賛助企業推薦)】 1件
浅間梨々花 (神戸大院・科学技術イノベーション研)
「ドーパミン発酵生産性を簡易的に評価する GPCR メタボライトセンサの開発」
【日本農芸化学会関西支部 第514回講演会 優秀発表賞 (支部長推薦)】 1件
宮本侑季 (京大院・農)
「ヒト腸内細菌叢による海藻多糖アルギン酸の分解と単離菌のゲノム構造」

【日本農芸化学会関西支部技術賞】2件

増村威宏¹, 中村貴子¹, 若井芳則², 清野珠美³ (¹京府大,
²黄桜株式会社, ³京都市産業技術研)

「京都産米「京の輝き」, 京都酵母「京の恋」を用いた大
学オリジナル日本酒「なからぎ」の開発」

佐藤俊輔¹, 加藤隆久¹, 有川尚志¹, 松本圭司² (¹カネカ,
²神戸大)

「微生物による天然型高分子PHBH生産技術の開発」

【日本農芸化学会中四国支部 功労賞】3件

麻田恭彦 (香川大学農学部)

内海俊彦 (山口大学大学院創成科学研究科 (農学系))

横井川久己男 (徳島大学大学院社会産業理工学研究部)

【日本農芸化学会中四国支部 技術賞】1件

「機能性表示食品「POM アシタノカラダ河内晩柑ジュ
ース」の開発」

首藤正彦 (株式会社えひめ飲料)

古川美子 (松山大学薬学部)

伊賀瀬道也 (愛媛大学大学院医学系研究科)

福田直大 (愛媛県産業技術研究所)

【日本農芸化学会中四国支部 奨励賞】2件

金井宗良 (独立行政法人 酒類総合研究所)

「清酒酵母の機能性成分高蓄積機構に関する研究」

末川麻里奈 (広島大学大学院統合生命科学研究科)

「植物のアスコルビン酸生成に関する研究」

【日本農芸化学会中四国支部 奨励賞 (学生部門)】42件

田部卓磨 (鳥取大学大学院連合農学研究科 (島根大学配
属))

Md. Mazharul Islam Chowdhury (鳥取大学大学院連合
農学研究科 (島根大学配属))

坂井麻衣子 (徳島大学大学院栄養生命科学教育部)

手島愛子 (広島大学大学院先端物質科学研究科分子生命
機能科学専攻)

假谷佳祐 (鳥取大学大学院持続性社会創成科学研究科)

古東義仁 (島根大学大学院自然科学研究科農生命科学専
攻)

矢野佳果 (岡山大学大学院環境生命科学研究科)

細川夏菜乃 (岡山県立大学大学院保健福祉学研究科栄養
学専攻)

新井一司 (岡山理科大学大学院理学研究科生物化学専
攻)

森 淳輝 (近畿大学大学院システム工学研究科)

谷口彰吾 (山口大学大学院創成科学研究科農学系専攻)

小林聡子 (水産大学校水産学研究科)

平田篤司 (香川大学大学院農学研究科)

佐藤明香音 (愛媛大学大学院農学研究科)

吉崎万莉 (徳島大学大学院先端技術科学教育部)

前川優樹 (徳島文理大学大学院人間生活学研究科)

阪地満帆 (高知大学総合人間自然科学研究科農学専攻)

川畑海渡 (鳥取大学農学部共同獣医学科)

美船好香 (鳥取大学農学部生命環境農学科農芸化学コー
ス)

濱田美生 (米子工業高等専門学校物質工学科)

石井克範 (島根大学生物資源科学部生命工学科)

小野はるか (岡山大学農学部農芸化学コース)

桑田七帆 (岡山県立大学保健福祉学部栄養学科)

高橋莉史 (岡山理科大学理学部生物化学科)

平川 彩 (くらしき作陽大学食文化学部栄養学科)

服部圭優 (広島大学生物生産学部)

古原優希 (広島大学工学部第三類)

梅本章矢 (広島工業大学生命学部食品生命科学科)

高橋一輝 (近畿大学工学部化学生命工学科)

田中萌菜 (山口大学農学部)

上野翔也 (山口大学理学部生物・化学科)

西岡優佑 (山口大学工学部応用化学科)

石原瑞希 (水産大学校食品科学科)

河野彩華 (宇部工業高等専門学校物質工学科)

大岩美晴 (香川大学農学部食品科学コース)

鈴木芳幸 (香川大学農学部生物資源機能化学コース)

船越友梨映 (愛媛大学農学部応用生命化学コース)

NGUTEN TUAN KIET (徳島大学生物資源産業学部応
用生命コース)

吉田真生 (徳島大学生物資源産業学部食料科学コース)

春本恵里花 (徳島大学医学部医科栄養学科)

川原里穂 (高知大学農林海洋科学部農芸化学科)

島崎幹生 (高知工科大学環境理工学群)

【日本農芸化学会中四国支部2020年度中四国支部大会 優
秀発表賞】6件

平田篤司 (香川大学大学院農学研究科)

「酵母及びアグロバクテリウム発現系を用いた青枯病菌
エフェクター RipAA の活性化機構の解析」

楠 真緒 (徳島大学大学院先端技術科学教育部)

「アグロバクテリウム法を用いたシイタケ形質転換法の
開発」

八澤菜央 (広島大学大学院統合生命科学研究科)

「In vivo イメージングを利用した腎障害の非侵襲的食品
評価系の構築」

田中淑乃 (鳥取大学大学院持続性社会創成科学研究科)

「Polyhistidine peptides を利用した植物細胞内へのタン
パク質直接導入法の開発」

矢野佳果 (岡山大学大学院環境生命科学研究科)

「高基質特異性L-グルタミン酸オキシダーゼから作製し
たL-チロシンオキシダーゼの性質検討」

細川夏菜乃 (岡山県立大学大学院保健福祉学研究科)

「エラジタンニン代謝物 urolithin A の抱合体の構造」

【日本農芸化学会西日本支部 第332回講演会 優秀発表
賞】7件

沖 啓輔 (九大院・農)

「Two conformations of DNA polymerase D-PCNA-

DNA complex in a hyperthermophilic archaeon
Thermococcus kodakarensis]

渡邊康太 (九大院・農)

「ヒト毛髪および頭皮細菌群集構造関連性の解明」

西岡成汰 (九大院・農)

「骨髄細胞特異的67LR-KO マウスを用いたEGCGの
miRNA発現調節作用の解析」

山口正晃 (鹿大院・農)

「白麴菌におけるCRISPR/Cas9システムによるゲノム
編集」

野見山泰成 (九大院・農)

「乳酸菌由来新奇抗菌タンパク質の探索および構造と特
性の解析」

守田湧貴 (九大院・農)

「黄麴菌のプロテアソーム分解経路におけるAoCdc48
の機能性解析」

安宅祐輔 (九大院・農)

「ラビリンチュラ類に適用できる実用的ゲノム編集技術
の開発」

【日本農芸化学会西日本支部 第333回講演会 優秀発表
賞】4件

Yuri Nishi (Grad. Sch. Biosci. Biotechnol. Sci., Kyushu
Univ.)

「Isolation of main bacteria on human scalp hair」

Kazuo Yamamoto (Kyutech・Department of Biological
Functions Engineering)

「Comparison of Growth Media for Diverse Colony
Formation」

Nguyen Ha Trang (Kyushu Univ., Bioresource and
Bioenvironmental Sciences)

「Potential use of sulfur-responsive region of sulfate
transporter SULTR2;1 for control of recombinant gene
expression in plants」

Akari Honda (Applied Microbiology, Kyushu Univ.)

「Immobilization of 1,6- α -L-fucosidase and endo-
 β -N-acetylglucosaminidase for defucosylation of
N-glycan」

【日本農芸化学会西日本支部 奨励賞 (学生の部)】2件

渡邊康太 (九州大学大学院生物資源環境科学府)

「ヒト毛髪に定着する細菌の存在形態と群集構造の解明」

謝 堃 (鹿児島大学大学院連合農学研究科)

「腸内細菌叢乱れ及び脂肪肝における藤茶の予防効果及
び作用機構に関する研究」

【日本農芸化学会西日本支部 奨励賞 (一般の部)】2件

平 大輔 (崇城大学生物生命学部)

「anammoxに関わる金属タンパク質の新奇な構造と機
能」

益田時光 (九州大学大学院農学研究院)

「TAシステム制御下のPersister集団とインドール産生

が細菌の耐熱性に及ぼす影響」

(4) 助成金・補助金・交付金の交付を通じて農芸化学の
発展を目的とする事業

1) 農芸化学女性研究者賞, 農芸化学若手女性研究者賞の
助成※100周年記念事業

2020年度の農芸化学女性研究者賞, 農芸化学若手女性研
究者賞の各3件に助成した。

[農芸化学女性研究者賞] 3件 3,000,000円

[農芸化学若手女性研究者賞] 3件 1,500,000円

2) 農芸化学研究企画賞の助成 ※100周年記念事業 (一
部) 第17回農芸化学研究企画賞の2件に4,000,000円を
助成した。第17回農芸化学研究企画賞の助成金へ下記
15社より23口の御寄附をいただいた。アサヒクオリ
ティーアンドイノベーションズ(株), 味の素(株), 天
野エンザイム(株), (株)カネカ, キッコーマン(株),
協和キリン(株), 月桂冠(株), サッポロホールディ
ングス(株), サントリーウエルネス(株), 第一三共
(株), 長谷川香料(株), (株)明治, 森永乳業(株),
ヤマサ醤油(株), ライオン(株)

3) 農芸化学中小企業産学・産官連携研究助成 ※100周
年記念事業 第2回農芸化学中小企業産学・産官連携研
究助成の7件に7,000,000円を助成した。

**第1回(2019年)農芸化学中小企業産学・産官連携研究助
成 7件6,980,000円**

加藤英介・佐藤浩志(北海道大学大学院農学研究院・日
生バイオ(株))「北海道産大麦若葉の機能性表示食品へ
の展開」1,000,000円

木村賢一・鈴木 聡(岩手大学農学部・(株)実正)「久
慈産琥珀抽出物に含まれるメラニン産生抑制物質の解明
による高度化粧品開発」1,000,000円

朝山宗彦・佐々木大作(茨城大学農学部・バイオックス
化学工業(株))

「有用藻による商品化を目指したモノづくり」1,000,000
円

松崎千秋・鈴木裕久(石川県立大学生物資源工学研究
所・(株)ホクコン)

「重金属を吸着する多糖産生乳酸菌の雨水浄化への利用」
1,000,000円

岡澤敦司・高井利浩(大阪府立大学大学院生命環境科学
研究科・カタシモワインフード(株))

「UV-LED照射による醸造用ブドウ果皮のポリフェノール
含量の増進」980,000円

神崎 浩・菊地敬一(岡山大学大学院環境生命科学研究
科・日本オリーブ(株))

「オリーブ葉成分の微生物変換による高機能化と化粧品
素材としての応用開発研究」1,000,000円

加治屋勝子・山田優一郎(鹿児島大学農学部・(株)立石
食品)

「血管機能改善作用を持つ桜島大根の新たな加工品創出に関する研究」1,000,000円

第2回（2020年）農芸化学中小企業産学・産官連携研究助成 7件7,000,000円

森川正章・杉浦 純（北海道大学大学院地球環境科学研究院・Green Earth 研究所株式会社）

「水生植物成長促進剤としての共生微生物の事業化のための研究」1,000,000円

藤井 力・高橋 亘（福島大学農学群食農学類・株式会社高橋庄作酒造店）

「日本酒のテロワールは何に由来するか」1,000,000円

原 太一・諸富勝成（早稲田大学人間科学学術院・株式会社天真堂）

「オートファジーを亢進する新たな加工食品素材の産業応用研究開発」1,000,000円

有井康博・西脇 章（武庫川女子大学生活環境学部・ハートフードクリエーツ株式会社）

「淡路産ハチミツと豆乳を用いた新規スイーツの開発」1,000,000円

三本木至宏・吉田充史（広島大学大学院統合生命科学研究科・オタフクソース株式会社）

「データ残渣を利用した高付加価値化ソース原料の開発」1,000,000円

芦内 誠・永峰 圭（高知大学農林海洋科学部・シンワ株式会社）

「ポリγグルタミン酸イオンコンプレックスの先端機能材料化」1,000,000円

中山二郎・柴崎哲哉（九州大学大学院農学研究院・株式会社ヴェントゥーノ）

「あまおう由来乳酸菌と沖縄もずくフコイダンの腸内フローラ改善効果」1,000,000円

4) 研究奨励金, 国際会議出席費補助金の助成

第48回 研究奨励金 5件2,197,000円

秋月一駿（広島大学大学院統合生命科学研究科・助教）

「新規がん転移抑制剤の創製を目指したPPM1F阻害剤の遊走・浸潤阻害活性の評価」497,000円

北岡直樹（北海道大学大学院農学研究院・助教）

「植物における空気中のジャスモン酸メチルによる病害および虫害抵抗性の向上機構の解明」500,000円

田中健太（東京理科大学薬学部生命創薬科学科・嘱託助教）

「緑色光をエネルギー源とする環境調和を指向した含酸素複素環合成法の開発」500,000円

名取良浩（東北医科薬科大学薬学部・講師）

「医薬品の創製を志向したチオ糖の効率的な新規合成法の開発」200,000円

花木祐輔（香川大学農学部応用生物科学科・助教）

「子宮内膜上皮細胞の分泌腺形態への分化を誘導する天然物の探索」500,000円

第74回 国際会議出席費補助金 1件2,220円

【院生枠】1件2,220円 ※100周年記念事業

Hasanah Uswatun（岡山大学大学院 環境生命科学研究科・博士後期課程3年）

「農業分野の先端技術の応用に関するシンポジウム（AATA）」(2020/10/2~10/3 ホーチミン/ベトナム) 2,220円

5) 外国人等講演会の開催補助

2020年度の申請はなかった。

6) 国際シンポジウムの開催補助

2020年度の申請はなかった。

7) 藪田講演会の開催補助

2020年度の申請はなかった。

8) 藪田セミナーの開催補助

2020年度の申請はなかった。

9) 学校教育における農芸化学の普及活動の補助

2020年度の申請はなかった。

10) 中学校・高等学校への出前授業

2020年度の申請はなかった。

11) 支部所属の会員へ研究会開催のための補助

2020年度補助はなかった。

12) 支部所属の学生会員へ年次大会等への参加旅費の補助
北海道支部

2020年度大会（福岡）参加補助金

13名（そのうち新規入会学生7名）補助総額163,375円

【その他の事業】

(1) 事業活動の公開と情報発信事業

1) ホームページ及びパンフレットによる本会の活動内容等の公開（日本語版・英語版）し、日本語版の学会ホームページから誰でも検索可能できる農芸化学関連大学大学院の研究科一覧の更新をした。

2) ニュースメール及びSNSの活用、本会の活動内容等の逐次発信

2020年はメールアドレス登録会員向けニュースメールを36回配信した。メールアドレス登録者は2021年2月現在約6,807名である。

支部の会員に限定し、支部からの案内メールを下記のとおり配信した。

北海道支部6回、東北支部6回、関東支部7回、中部支部4回、関西支部7回、中四国支部9回、西日本支部14回。

ニュースメール、支部案内メールとは別に、講演会やセミナーの案内、各委員会からのお知らせ等のメール配信を1回配信した。

サイエンスカフェの開催情報をツイッター及びフェイスブックで発信した。

3) 内外の関連機関と会誌の寄贈・交換

2020年の会誌の寄贈・交換は下記のとおりである。

[和文誌の寄贈・交換] 25件（国内17件、海外8件）

国内：

- ・国会図書館
- ・科学技術振興機構
- ・国際医学情報センター
- ・日本生化学会
- ・日本地質学会
- ・繊維学会
- ・バイオインダストリー協会
- ・山陽技術振興会
- ・UBM メディア (株)「食品と開発」編集部
- ・農林水産省図書館
- ・工業所有権情報研修館
- ・日本化学会
- ・日本生物工学会
- ・日本薬学会
- ・日本香料協会
- ・有機化学合成協会
- ・科学新聞

海外：

- ・中国農業化学会 (台)
- ・The British Library (英)
- ・The Science Library Science Museum (英)
- ・Library Chinese Academy of Agricultural Sciences (中)
- ・The Library of Chinese Academy of Sciences (中)
- ・Chemical Abstracts Service (米)
- ・USDA National Agricultural Library (米)
- ・Russian Academy of Sciences Library (露)

[英文誌の寄贈・交換] 14件 (国内4件, 海外10件)

国内：

- ・国会図書館
- ・工業所有権情報研修館
- ・科学技術振興機構
- ・日本薬学会

海外：

- ・The British Library (英)
- ・China National Chemical Information Center (中)
- ・Library Chinese Academy of Agricultural Sciences (中)
- ・The Library of Congress Asian Middle Eastern division (米)
- ・The Institute of Scientific Information Russia Academy of Sciences (露)
- ・Russian Academy of Sciences Library (露)
- ・The Library Publications & Information Directorate (印)
- ・Institute of Organic Chemistry & Biochemistry (チェコ)
- ・Agricultural Science in Finland (フィンランド)
- ・I.N.R.A.C.R.de Jouy-en-Josas Domainede VilvertUnite Centrale de Documentation (仏)

4) フェロー制度を活用, 本会の発展に顕著な貢献をなした正会員の功績を称えるとともに, 本会の更なる発展へ向けての活動を嘱する。

2020年度新たな承認はなかった。現在100名の承認者となっている。

[2014～2018年度承認100名]

麻田恭彦, 浅野泰久, 安達修二, 阿部啓子, 安部康久, 池田郁男, 伊藤幸成, 稲垣賢二, 井上國世, 植田和光, 内海俊彦, 内海龍太郎, 生方 信, 裏出令子, 江坂宗春, 遠藤銀朗, 大澤俊彦, 大島敏久, 大東 肇, 長田裕之,

小鹿 一, 尾添嘉久, 小田耕平, 加藤陽治, 加納健司, 上村一雄, 河合富佐子, 河岸洋和, 川端 潤, 神崎 浩, 木曾 真, 北島直文, 北本勝ひこ, 木村 誠, 工藤俊章, 久原 哲, 熊谷日登美, 河野憲二, 後藤俊男, 小林哲夫, 駒井三千夫, 五味勝也, 小山泰二, 齋藤忠夫, 澤 嘉弘, 沢村正義, 重岡 成, 清水(肖)金忠, 新免芳史, 水光正仁, 須貝 威, 菅沼俊彦, 關谷次郎, 園元謙二, 平 秀晴, 田中啓司, 田之倉 優, 土屋英子, 寺尾純二, 徳田 元, 戸坂 修, 中野長久, 中村保典, 西田律夫, 早川 茂, 林 英雄, 原 博, 深見治一, 福田恵温, 福田雅夫, 伏木 亨, 藤田泰太郎, 古川謙介, 前島正義, 牧 正敏, 正木春彦, 松井博和, 松尾憲忠, 松下一信, 松田 譲, 松本正吾, 宮川都吉, 宮澤陽夫, 三輪清志, 三輪 操, 村田幸作, 森 信寛, 柳田晃良, 山田耕路, 山田 守, 山根久和, 山本憲二, 山本万里, 横井川久己男, 横関健三, 横田明徳, 横田孝雄, 吉澤結子, 吉田 稔, 依田幸司

(2) 関連学協会, 産業界, 官界等との連携・協力の推進事業

- 1) 日本学術会議の活動に「日本学術会議協力学術研究団体」として密接に連携した。
- 2) 日本学術会議農芸化学分科会との連携を強化した。
2020年度に開催したサイエンスカフェのうち, 第133回「薬に頼る前にできる疾病予防—ビタミン・ミネラル・ポリフェノールの有効利用—」を日本学術会議農芸化学分科会との共催とした。
- 3) 日本農学会に評議員, 運営委員として会員を派遣し, 活動した。
2020年度に開催された日本農学会運営委員会に庶務理事が出席し, 日本農学会評議員会に会長が出席した。また2021年度日本農学賞に本会から1件を推薦した。
- 4) 農学会の農学教育推進委員会に委員として会員を派遣し, 活動した。
農学会の農学教育推進委員会及び農学一般関連分野審査委員会にJABEE対応委員長が出席した。また, 第19回日本農学進歩賞に本会から2件を推薦した。
- 5) 日本技術者教育認定機構(JABEE)の農学一般関連分野, 生物工学関連分野ともにプログラムからの審査申請が受理され, COVID-19の影響で2021年度にかけて審査が進められている。本会からは農学一般関連分野に審査員を派遣した。
- 6) 農学会の農学教育推進委員会が主催した「JABEE基準改定に関する勉強会」に本会会員が出席した。
- 7) 化学情報協会の正会員として, 活動した。
- 8) 日本国際食品科学工学連合に会員として参加した。
- 9) 日本光生物学協会に委員として会員を推薦し, 活動した。
日本光生物学協会委員会に本会会員1名が出席した。
- 10) 日本微生物学連盟に会員, 理事として参加し, 活動し

た。

日本微生物学連盟理事会に本会代表として出版担当理事が出席した。

11) 日本昆虫科学連合に会員として参加し、活動した。

日本昆虫科学連合総会に本会会員2名が出席した。

12) 男女共同参画学協会連絡会に会員として参加し、活動した。

・2019年11月から2020年10月まで連絡会の幹事学会を務めた。

・幹事学会として第18回連絡会シンポジウムを立案、オンライン開催した。

・第18回連絡会シンポジウム特設サイトに本会の活動報告ポスターを掲載した。

・男女共同参画学協会連絡会運営委員会にダイバーシティ推進委員が出席した。

・加盟学会の2019・20年活動調査について本会の活動を報告した。

13) 生物科学学会連合に会員として参加、活動した。

生物科学学会連合定例会議に本会代表として庶務担当理事が出席した。

14) 国内学術集会の共催・協賛・後援

【2020年】(28件)

・第7回SBJシンポジウム バイオ医薬品開発の最先端と生物工学への期待(東京農工大)《後援》(5月22日)【中止】

・第349回液体クロマトグラフィー研究懇談会(東京)《後援》(7月21日)【中止】

・講演会「持続可能な社会に向けた化学技術～ものづくり・エネルギー資源における超スマート社会の実現を目指して～」(Web開催)《後援》(9月4日)

・2020年度 日本冷凍空調学会年次大会(三重大)《後援》(9月9日～11日)

・第71回コロイドおよび界面化学討論会(Web開催)《協賛》(9月14日～16日)

・未来社会を支える温暖化対策技術シンポジウム in 関西—ビヨンド・ゼロの実現に向けて—(大阪)《後援》(9月24日)

・日本ゾル-ゲル学会第17回セミナー(Web開催)《後援》(9月25日)

・第18回高付加価値食品開発のためのフォーラム(静岡)《後援》(9月25日～26日)

・原子力総合シンポジウム2020(Web開催)《後援》(9月30日)

・日本清涼飲料研究会 第30回総会・研究発表会(東京)《後援》(10月9日)【延期】

・第31回万有仙台シンポジウム(仙台)《後援》(10月17日)

・熱測定オンライン討論会2020(Web開催)《後援》(10月26日～28日)

・第56回X線分析討論会(大阪)《後援》(10月28日～29日)

・電気化学セミナーC「電気化学による細菌・ウイルス検出の最前線～新型コロナウイルス感染症の流行を経験して～」(Web開催)《後援》(11月6日)

・メタルバイオサイエンス研究会2020 生命金属に関する合同年会(ConMetal 2020)(千葉大)《後援》(11月6日～7日)

・プロテイン・アイランド・松山2020(愛媛)《後援》(11月9日)

・日本希土類学会第38回講演会(Web開催)《後援》(11月11日)

・第25回静岡健康・長寿学術フォーラム(静岡)《後援》(11月13日～14日)

・ポストコロナ戦略シリーズ7「ストレス緩和と癒しのソリューション」(東京とのハイブリッド開催)《後援》(11月19日)

・第5回トランスポーター研究会関東部会(Web開催)《後援》(11月21日)

・第61回高圧討論会(Web開催)《後援》(12月2日～4日)

・第1回クロデキストリン入門講座(Web開催)《後援》(12月5日)

・革新的環境技術シンポジウム2020(東京とのハイブリッド開催)《後援》(12月9日)

・第47回炭素材料学会年会(Web開催)《後援》(12月9日～11日)

・第48回構造活性相関シンポジウム(Web開催)《後援》(12月10日)

・第32回万有札幌シンポジウム「有機合成化学の道しるべ」(Web開催)《後援》(12月12日)

・“未来へのバイオ技術”勉強会「記憶をあやつる～脳科学の最先端」(Web開催)《後援》(12月16日)

・“未来へのバイオ技術”勉強会「データ駆動型医学研究」(Web開催)《後援》(12月21日)

【2021年】(35件)

・“未来へのバイオ技術”勉強会「南極、深海から宇宙まで～新奇・極限微生物をめぐる戦略」(Web開催)《後援》(1月7日)

・緊急特別講演VIII「新型コロナウイルスとの対峙：新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者に対する5-アミノレブリン酸(5-ALA)を用いた特定臨床研究について」(Web開催)《後援》(1月13日)

・“未来へのバイオ技術”勉強会「糖化ストレスケアと疲労の低減」(Web開催)《後援》(1月14日)

・第32回高分子ゲル研究討論会 研究発表募集(Web開催)《協賛》(1月21日～22日)

・第26回高専シンポジウム in Yonago(Web開催)《後援》(1月23日)

・“未来へのバイオ技術”勉強会「未病マーカー」(Web開

- 催)《後援》(1月28日)
- ・バイオインダストリー奨励賞受賞者セミナー「がん診断の最前線」(Web開催)《後援》(2月8日)
 - ・“未来へのバイオ技術”勉強会「ゼブラフィッシュ創薬」(Web開催)《後援》(2月10日)
 - ・日本栄養・食糧学会関東支部 第23回健康栄養シンポジウム (Web開催)《後援》(2月20日)
 - ・“未来へのバイオ技術”勉強会「最新ネコねこバイオロジー」(Web開催)《後援》(2月22日)
 - ・第九回 低温・氷温研究会 (大阪、鳥取とのハイブリッド開催)《後援》(2月23日)
 - ・“未来へのバイオ技術”勉強会「バイオ素材百花繚乱15～脂質と超小胞体のマジック」(Web開催)《後援》(3月3日)
 - ・“未来へのバイオ技術”勉強会「コロナ禍の今こそ取り組む地球再生SDGs」(Web開催)《後援》(3月8日)
 - ・ACT-X「環境とバイオテクノロジー」は地球環境の危機を救う！(Web開催)《後援》(3月9日)
 - ・“未来へのバイオ技術”勉強会「美肌の極意・化粧品の実証」(Web開催)《後援》(3月11日)
 - ・ポストコロナ戦略シリーズ8「非破壊・非侵襲技術の社会実装」(Web開催)《後援》(3月16日)
 - ・“未来へのバイオ技術”勉強会「ビッグデータとしての下水道情報活用による安全安心社会の創造～SDGsへの挑戦～」(Web開催)《後援》(3月18日)
 - ・第357回液体クロマトグラフィー研究懇談会 (Web開催)《後援》(3月25日)
 - ・バイオエンジニアリング研究会総会・講演会「ニューノーマルにおけるバイオエンジニアリングの新しい風」(Web開催)《後援》(3月30日)
 - ・第358回液体クロマトグラフィー研究懇談会 (Web開催)《後援》(4月22日)
 - ・第32回万有仙台シンポジウム (Web開催)《後援》(5月15日)
 - ・第21回マリンバイオテクノロジー学会大会 (東京農工大)《後援》(5月15日～16日)
 - ・第37回希土類討論会 (Web開催)《後援》(5月19日～20日)
 - ・第8回SBJシンポジウム ―カーボンリサイクル実現に向けたバイオ生産技術開発― (Web開催)《後援》(5月26日)
 - ・第359回液体クロマトグラフィー研究懇談会 (Web開催)《後援》(5月27日)
 - ・第360回液体クロマトグラフィー研究懇談会 (Web開催)《後援》(6月24日)
 - ・第26回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会 (埼玉)《後援》(6月24日～25日)
 - ・第18回ホスト・ゲスト・超分子化学シンポジウム (Web開催)《後援》(6月26日～27日)
 - ・第58回アイソトープ・放射線研究発表会 (Web開催)《後援》(7月7日～9日)
 - ・第361回液体クロマトグラフィー研究懇談会 (Web開催)《後援》(7月21日)
 - ・第58回粉体に関する討論会 (北見工業大)《後援》(9月6日～8日)
 - ・第63回天然有機化合物討論会 (大阪)《後援》(9月15日～17日)
 - ・第50回複素環化学討論会実施要項 (静岡)《後援》(10月7日～9日)
 - ・第58回ペプチド討論会 (東京)《後援》(10月20日～22日)
 - ・第48回有機典型元素化学討論会 (岐阜)《後援》(12月1日～3日)
- 15) 和食文化国民会議に会員として参加した。
- 16) その他外部団体との連携
- ・日本学術振興会 第17回日本学術振興会賞に本会から1件を推薦した。
 - ・持田記念医学薬学振興財団の2020年度持田記念学術賞に本会から1件を推薦した。
 - ・令和3年春の科学技術に関する紫綬褒章受章に本会から1件を推薦した。
 - ・日本学術振興会 第11回育志賞に本会から1件を推薦した。
 - ・令和3年度文部科学大臣表彰科学技術賞の開発部門に本会から1件を推薦した。
 - ・農学会の第19回日本農学進歩賞候補者を2件推薦した。
 - ・沖縄協会の第42回沖縄研究奨励賞に本会から1件を推薦した。
 - ・飯島藤十郎記念食品科学振興財団の2020年度飯島藤十郎食品科学賞に本会から1件を推薦した。
 - ・第61回東レ科学技術研究助成に本会から1件を推薦した。
 - ・三島海雲記念財団の第10回三島海雲学術賞に2件を推薦した。
 - ・藤原科学財団の第62回藤原賞に本会から1件を推薦した。
 - ・山田科学振興財団「2021年度研究援助」に本会から2件を推薦した。
 - ・内藤記念科学振興財団へ2020年度選考委員3名を推薦した。
- (3) 関連する国際協力の推進事業
- 1) 国際学術集会の共催・協賛・後援
- 【2020年】(1件)**
- ・Molecular Chirality Asia 2020 Online (第4回モレキュラー・キラリティー・アジア) (Web開催)《後援》(10月31日～11月2日)

【2021年】(2件)

・合同会議 第22回国際磁気共鳴会議 第9回アジア太平洋NMR シンポジウム 第60回NMR 討論会 (2021) 第60回電子スピンスサイエンス学会年会 (略称: ISMAR-APNMR2021) (大阪)《後援》(8月22日~27日)

・Pacrifichem 2021 official Participating Organization (OPOs)《協賛》(12月16日~21日)

2) 国際栄養学会議と連携した。

(4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

1) 最高裁判所及び東京地方裁判所に知的財産専門委員候補者3名を推薦し、協力した。

2) 大学改革支援学位授与機構へ機関別認証評価委員会専門委員候補者を推薦し、協力した。

【総会, 理事会, 委員会の開催】

2020年度(2020年3月1日から2021年2月28日)は下記のとおり開催した。

・総会

第64回(2020年度)定時総会を2020年5月29日, 日本農芸化学学会会議室(東京都文京区弥生2-4-16)において開催し, 次の議案を可決した。

第1号議案 貸借対照表及び正味財産増減計算書の承認の件

・理事会 (6回)

5月15日: ①2019年度事業報告書承認, ②2019年度計算書類承認, 及び監査報告, ③通常総会開催

5月29日: ①入会員の承認, ②英文誌BBBの出版委託契約について, ③2022年度大会~2026年度大会の運営業者の選定について, ④2022年度大会の会場の選定について, ⑤役員候補者等選考委員会委員の選出について, ⑥女性研究者賞等の規程変更案, 募集要項変更案について, ⑦企業研究者活動表彰規程変更案について, ⑧2020年度の理事会開催計画について, ⑨在宅勤務規程の新設について

7月10日: ①入会員の承認, ②次年度以降の和文誌および英文誌の冊子体の取り扱いについて, ③英文誌の掲載料について, ④2022年度大会~2026年度大会の5年契約, 並びに2021年度大会(仙台)及び2022年度大会(大阪)の運営委託契約について, ⑤2022年度大会~2026年度大会附設展示会の運営業者の選定について, ⑥2021年度大会(仙台)の附設展示会業務委託契約及びランチョンセミナーの業務委託契約について, ⑦2021年度大会(仙台)の開催形態, 一般講演の発表形態について, ⑧支部大会等のオンライン開催の統一システムの構築について, ⑨農芸化学女性研究者及び若手女性研究者チャレンジ研究助成規程の新設について, ⑩農芸化学女性研究者賞, 農芸化学若手女性研究者賞, 及び企業女性研究者賞の応募要領の変更について, ⑪ソーシャルネットワークワーキングサービス(SNS)規程の新設について, ⑫英文誌BBBの寄贈停止について

10月9日: ①入会員の承認, ②有功会員候補者の承認について, ③BBB論文賞の副賞の廃止について, ④2021年度大会(仙台)の開催形態, 一般講演の発表形態について, ⑤研究企画賞規程の変更について, ⑥助成決定の承認について, ⑦外部監査契約の承認について

12月23日: ①入会員の承認, ②英文誌の冊子体印刷契約について, ③和文誌への書評の掲載方針の変更について, ④各種表彰の承認について, ⑤各種助成金の承認について, ⑥各種規程・規則の変更について, ⑦2021年度大会(仙台)について, ⑧2021年度事業計画案について, ⑨2021年度予算案について, ⑩山口大学中高温微生物研究センター要望書について

2月19日: ①入会員の承認, ②授賞選考委員の改選について, ③各種表彰の承認について, ④各種助成金の承認について, ⑤農芸化学女性研究者賞, 農芸化学若手女性研究者賞, 及び農芸化学女性企業研究者賞表彰規程の変更について, ⑥2021年度大会(仙台)の第一日目の開催形態について, ⑦2021年度事業計画案について, ⑧2021年度予算案及び資金調達等の見込みについて, ⑨余剰金の積み立てについて, ⑩創立100周年記念式典の実施について(2024年), ⑪2023年度大会実行委員長の選出について

・授賞選考委員会 (2回)

10月23日: ①日本農芸化学会賞・日本農芸化学会功績賞候補者の選考, 及び日本農学賞本会推薦候補者の選考

12月4日: ①農芸化学技術賞・農芸化学奨励賞候補者の選考

・学術活動強化委員会

3月27日: 大会中止のため, 中止

・学術活動強化委員会総務会 (1回)

8月26日: ①Visionary100シンポジウムの開催日程について②他学会連携シンポの開催日程について③2020年度の学活予算及び行事確認について④微生物分類研究部会設立について

・和文誌編集委員会 (2回)

7月21日: ①委員から関係者宛の記事勧誘の是非について, ②補足(Supplements)について, ③化学用語・生物用語・字訳等の統一(参照用語集の推薦など)について, ④コーナータイトルの整理, ⑤推薦記事の採否

12月10日: ①「査読」について, ②コーナータイトルについて, ③書評について, ④推薦記事の採否

・英文誌編集委員会

3月26日: 大会中止のため, 中止

・英文誌編集総務会 (1回)

1月15日: ①論文賞候補の選考, ②BBB Most Cited Paper (Review) Award候補の選考

・産学官学術交流委員会 (2回)

3月27日: 大会中止のため, 中止

9月18日: ①15回農芸化学研究企画賞の最終報告について, ②第3回農芸化学中小企業産学・産官連携研究助成の

公募について、③産学官若手交流会（さんわか）活動報告、④第15回企画賞報告書の和文誌推薦について、⑤新しい企画賞助成事業について、⑥2020、2021年度さんわか活動計画について、⑦さんわか2019年度決算、2020年度予算執行状況、2021年度予算案について、⑧委員会開催日の日程調整について、⑨次回の委員会開催について
12月14日：①第18回農芸化学研究企画賞の採択候補の選考、②第3回農芸化学中小企業産学・産官連携研究助成の採択候補の選考について、③2021年度予算案の承認について、④産学官若手交流会（さんわか）活動報告／計画
⑤さんわかの2021年度予算案について

・新企画賞に関する事前打ち合わせ（2回）

2月2日、2月22日

・広報委員会（2回）

3月27日：大会中止のため、中止

7月2日：①研究室検索サイトについて、②学会HP英語版充実化について、③SNSの活用について

1月12日：①2020年度活動計画案・予算案、②SNSの活用について

・財務委員会（6回）

4月6日：①福岡大会（中止）の収支報告、②5月の理事会、総会、授賞式について

5月25日：①2020年度福岡大会中止関連、②2022年度大会～2026年度大会の運營業務委託に関する開札及び落札、③2022年度大会～2026年度大会附設展示会の運營業務委託に関する開札及び落札、④2022年度大会の会場選定、⑤BBB出版委託契約報告、⑥化学と生物オンラインサイトへ英語要旨の掲載について、⑦女性研究者賞等の規程変更案、募集要項変更案、その他、⑧企業研究者活動表彰規程変更案、⑨産学官フォーラム等、支部大会・講演会のオンライン開催について（ウェビナーの活用）、⑩外部監査人の監査遅延説明及び本年度の契約更新について、⑪在宅勤務の継続、及びそれにかかる諸経費の支給⑫就業規則の変更案

7月3日：①2022年度大会～2026年度大会附設展示会の運營業務委託に関するプレゼン、②2021年度仙台大会一般講演の開催・発表形態について、③日本農芸化学学会大会のシンポジウムにおける非会員シンポジストの旅費支援について、④2021年度仙台大会展示会出展のキャンセルポリシーについて、⑤2020年度福岡大会中止収支報告その後⑥次年度以降の和文誌および英文誌の冊子体の取り扱いについて、⑦英文誌の掲載料の値下げについて、⑧英文誌掲載論文の著作権の取り扱いについて、⑨経済制裁国著者への投稿料免除について、⑩女性チャレンジ助成の規程案、申請書案、募集要項案⑪女性賞、若手女性賞の規程・募集要項修正案⑫産学官フォーラム等、支部大会・講演会のオンライン開催について（ウェビナーの活用）つづき、⑬中四国支部大会の開催形態について、⑭外部監査実地監査終了（6月15日～19日）、⑮Web会議用 ZoomIDPW の通知

方法の変更（メール配信からマイページ掲載へ）、⑯職員配置更新

10月2日：①英文誌の冊子体印刷契約についてDNP、②論文賞の副賞の廃止について、③化学と生物書評の取り扱いの変更について、④研究企画賞助成金の変更について、⑤査読者検索システムの利用継続について、⑥ゲノム編集シンポジウムのオンライン開催について、⑦ウェビナーに関する意見交換会第2回目について、⑧2020年度予算実績について、⑨今年度予算の修正及び次年度予算の作成方針について、⑩2021年度仙台大会の開催形態・発表形態について、⑪2020年度福岡大会中止収支報告その後、⑫2021年度仙台大会予算案について、⑬、内閣府立入検査終了（9月14日）、⑭外部監査人の交代について、⑮学会センタービル境界線確認、⑯事務局人事、⑰農学会への寄附企業の推薦依頼について

12月16日：①和文誌での書籍紹介コーナーの新設について、②役員講演報酬の廃止、懇親会参加費について（規程変更）、③SNS用のデザイン報酬について（ピッチ公募用）、④2021年度大会の企業説明会の参加費、⑤2021年度仙台大会予算案の修正、⑥2020年度予算修正（報告）、⑦2021年度予算案（第一次案）、⑧ローテーション出勤の制度化、⑨退職手当の承認、⑩事務局体制について、⑪次期の財務委員会について

2月10日：①大会第1日目の開催形態について、②2021年度予算案、③2020年度決算・収支状況について、④事務局関連

・JABEE対応委員会

3月27日：大会中止のため、中止

・ダイバーシティ推進委員会（1回）

7月15日：①2020年度大会（福岡）における男女共同参画ランチョンシンポジウムについて、②女子中高生夏の学校2019について、③男女共同参画学協会連絡会（以下連絡会）の会員等の女性比率調査について、④第18回男女共同参画学協会連絡会シンポジウムについて、⑤2019年度の男女共同参画学協会連絡会運営委員会について、⑥第17回男女共同参画学協会連絡会シンポジウムについて、⑦2021年度大会（仙台）における男女共同参画ランチョンシンポジウムについて、⑧女子中高生夏の学校2020について、⑨ロールモデル集のダイジェスト版について、⑩2020年度女性研究者賞のチラシについて、⑪男女共同参画学協会連絡会運営委員会への参加について、⑫農芸化学女性研究者賞等授賞選考委員について、⑬日本農芸化学学会員の女性比率推移について

・農芸化学女性賞等授賞選考委員会（1回）

12月7日：①農芸化学女性研究者賞・農芸化学若手女性研究者賞・農芸化学女性企業研究者賞候補者の選考

・創立100周年記念事業組織委員会（2回）

8月31日：①記念誌第1部に関する調査の状況について、②記念誌第2部について

2月1日：①記念誌第1部冊子体の構成案

・創立100周年記念事業組織委員会ワーキンググループ(1回)

10月21日：①記念誌第1部の作業報告，②記念誌第2部の作業計画

・大会実行委員会(3回)

3月9日：開催延期

6月8日：①各係と委員の紹介，②九州大会の概要・予算説明，③仙台大会の概要・予算検討，④趣意書作成について，⑤公募シンポジウムについて，⑥スケジュールの紹介

10月22日：①オンライン開催の概要について，②実行委員会の一部再編について，③趣意書について，④一般講演公募，プログラム会議等，今後の予定について

12月24日：①2021年度大会一般講演におけるトピックス賞候補の選出，②一般講演のプログラム編成

【会員の状況】

2020年度(2021年2月28日現在)の会員数は次のとおりである。

	2020年度	2019年度	増減
名誉会員	16	16	0
有功会員	214	216	-2
シニア会員	258	288	-30
一般会員	6,889	6,833	56
教育会員	96	96	0
学生会員	2,358	2,606	-248
ジュニア会員	9	9	0
国外会員	37	50	-13
団体会員	247	251	-4
賛助会員	97	98	-1
(口数)	181	(191)	(-10)
合計	10,221	10,463	-242

(2021年2月末現在)

会員種別	名誉	有功	シニア	一般	教育	学生	ジュニア	国外	団体	賛助 (口数)	小計
前年2月末	16	216	288	6,833	96	2,606	9	50	251	98(191)	10,463
北海道支部	0	11	8	256	2	110	0	0	6	3(3)	396
東北支部	0	9	12	393	10	203	0	0	16	1(1)	644
関東支部	8	101	117	2,863	37	870	9	0	118	60(122)	4,183
中部支部	2	11	28	899	10	363	0	0	35	9(18)	1,357
関西支部	5	48	56	1,350	17	435	0	0	38	16(29)	1,965
中四国支部	0	16	14	646	11	212	0	0	24	5(5)	928
西日本支部	0	18	23	470	9	164	0	0	10	3(3)	697
国外	1	0	0	12	0	1	0	37	0	0	51
合計	16	214	258	6,889	96	2,358	9	37	247	97(181)	10,221
増減	0	-2	-30	56	0	-248	0	-13	-4	-1(-10)	-242
入会	0	0	0	185	6	733	0	2	4	0	930
復会	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
会員種別変更	0	6	7	771	0	-784	0	0	—	—	—
休会	0	0	0	-1	0	0	0	0	0	0	-1
退会	—	-2	-24	-267	-1	-142	0	0	-7	-1(-10)	-444
会費未納退会	—	—	-8	-126	-1	-47	0	-1	-1	0	-184
会費滞納による 会員資格停止	—	—	-1	-503	-4	-8	0	-14	0	0	-530
逝去	0	-6	-4	-4	0	0	0	0	—	—	-14
口数変更	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0(0)	—
合計	0	-2	-30	56	0	-248	0	-13	-4	-1(-10)	-242

新規入会者の入会年度内訳

会員種別	名誉	有功	シニア	一般	教育	学生	ジュニア	国外	団体	賛助	小計
2020年度入会	0	0	0	70	3	62	0	1	3	0	139
2021年度入会	0	0	0	115	3	671	0	1	1	0	791
計	0	0	0	185	6	733	0	2	4	0	930